平新報

發行日 月一回
毎月10.日發行
編輯兼發行印刷人
山野邊庄吉
福島縣磐城市
大字岩出字向二八
發行所 平新報社
一部定價拾円送料四円
廣告料 一行 五十円

【眞立随筆】

暴力は絶排すべし

社会公益のための筆陣、但し權利は主張する

己れの非を知らば反省と共に良心にかえれ

一、本紙前號報、巡査立寄場『連絡所』の標木札の件だが内山さんは區長なるが故に大蔵さんに持つて行つたと釋明するが、然らば、住吉、高萩一氏、林城長瀬彰義氏は當時區長であつたか、左に在らず、兎に角大蔵氏から何ら釋明がないが、大蔵さんはその折、昔からのヒキタリを承知して居るのだから一應遠慮すべきもので、一事が万事で、なす事、やる事、納得處理でない、字、近隣の交誼を暗らくするものである、人は地位、立場を代えて考うべきで、屁ピリ虫は己れの臭きを知らぬから本紙筆者の善意を逆恨みし家族らまで己れの夫のやつた事を當り前のつもりして被害者の筆者の家族にまで挑戰して來る、彼等に反省の微意でもあれば、出來得るならば法の裁き其の筋を煩はしたくない、事、此處に至つては敢然、私情を絶排して、社会公益と自己權利の主張のため破邪顯正、即ち反省を促す等は手ぬるい勧善懲悪!! 法的に善處する決意を益々固めざるを得ない

思想の革命は文筆から出づとか、西哲は批判して居る、歴史なくして現在はあり得ない、この意味で八年前の私が玉川農業協同組合長の辭職の聲明書を再録すれば事は明瞭になるのだが紙面の都合上再録出來得ない、その聲明書配布の折は何等名譽毀損等との法訴せず、だまりこくつて、今日その手續をとつた、△崎、□瀬、×野の悪のグループどもはやぶへび、それを屁押しする己れの非をカムフラージせんとするボス、〇野、〇瀬の悪策どもは何が故に眞立の正義の筆致を畏れ、暴力金力權力を振うか暴力とは必ずしもゲンコツではない、地セブリとか、交通妨害とか、最も悪質の暴力である、被害者は大衆である、敵は幾萬ありとても正義の唱歌は子供時代歌つたものだ、六十才の今日、高らかに唱へたくなる

一、住吉駐在の内山平氏が私の不在の折、私の家族に『岩出住吉、野田、林城の人々があなたのお父さん(筆者眞立)に暴力を加える樣な傾向と言動がある、注意する樣に夜はあまり歩かせない方がよいでしよう、お年寄りですから……駐在所へ數々の〇〇等が來て本官は困つて居る、然し、私(内山巡査)は言論の自由だからどうにもならぬと言つてやつて居る……云々」と親切に私の長男泰秀らに申し渡した由だが、私の家族は恐怖心のドン底におちて居る、ある夜、急用あつて小名濱港に行き用事が短時間ですまず、歸宅がおくれ處が長男泰秀が住吉まで迎えに來て居つた、妻や嫁が迎えと警護に向けたと私考するが、この時程、衷心肉親愛に打たれた事がない、眞立死すとも正義は死なぬと豪語するが家族にまで心配かけては内心すまぬと自已反省はするが年頭に念願せる通り社会公益のためには飽くまで闘う信念はすてられぬ、ボス共、何が故に正々堂々！ 當つて來ぬか奇策を弄し不良の徒をそそのかして駐在内山さんが察知する如く、言動を弄すか彼らの卑怯なる不隱なる言動は言論の自由に暴力を拍車するものだ、否筆者をして益々懲悪の批判を進めさすものだ、何が故に遠吠ひするか、かつて玉川農業協同組合は三日ともたぬ、つぶれるなどと流布したのは誰れか、その證人は確かに何人もある、而して玉協組合はその折組合事務所へ百人近く押しよせて來て文字通り取りつけを食つた事は事實である、これ金融かくらんであつて當時全組合長であつた眞立はその罪で某々を告訴の手續をする決心だつたが、現組合長駒木根忠三氏の經驗と善處とに信頼してその手續はやめたのだ、當時の選擧長であつた食糧穀物檢査出張所長、故丹忠義氏、當時の〇〇課長等は役職から申して公平であらねばならぬ、然るに彼らは〇瀬某らと従兄弟なるが故に不正、不當なる言動を敢てなした、一体、自治体課長とか支所長、PTAの役員は公平であらねばならぬ、自己の職位を乱用して私的、言動あつてはならぬ月給は一体誰からうけて居るのだ、市長や議長個人のフトコロから貰つて居るのか、事冷靜にその職責に忠實であつて欲しい、公平であつて欲しい感情にとらわれるはやめてほしい、その任に背いては課長等の資格はない、殊に農〇課は農民に味方すべきで、商人に便益を與える如きは商〇課の方へでもまわつたら良いだろう、兎に角適材適役でない事は市民の聲である、それも自分が農經營者であり「この人は商もやつて居るが……農協は脱退、加入は自由だから(定款 法的には差し支えないが、それも〇政に委員の現職に在る某議員が自己のみなら許すとしても親族をそのかして現組合長駒木根氏と感情問題から脱退させたり、登録替させたりするが如きは常識として公人として 農協に協力どころか農協組をツブさんとしての計畫的悪質であるいづこも同じだが、地方人はどうも協力性がない人の悪いは磐城の平、それに次ぐ小名濱、實に昔の人はうがつた言葉をのこしたものだ、この意味で地方の發展は円滑に行かぬ、反對すべくの反對はやむべきである、地の利は農地のみならず、すべての事業に關聯するが、結局は人の和で家庭でも自治体でも人の和で本紙前號に強張せる通り生活、即ち政治人なくして政治はあり得ない、その人の人格が政治、殊に教育に反映すべきものである、邪心をもつた人々は悪政をなす迷惑するのは大衆であり一般市民である、「天下に何者をも知り得るも自己のみは知り得ず」と言うから眞立も自己反省するが、已れの言動が顧みて悪いと感づいたら改心する余地がある筈だ、それをどこまでも己れのやつた非行を是なりとして眞立に暴力言動で對抗の擧に出つ！ 法訴したり……する點にはあくまで世の正しき批判と法治國としての法の裁きをうくるより外、術なしと信ずるものである

入社の辭

吉田儆

地方紙が單なる報道で終つている中で、眞實の追求と社会淨化への肉迫を嚴肅なまでにもちつづけている平新報は、二九八號、三十年も生きている。この歴史を作つた山野邊さんの眞摯な姿にうたれ、逢つていよいよその素朴な精神美に共鳴入社したのである。(一九五七・三)

新報直言

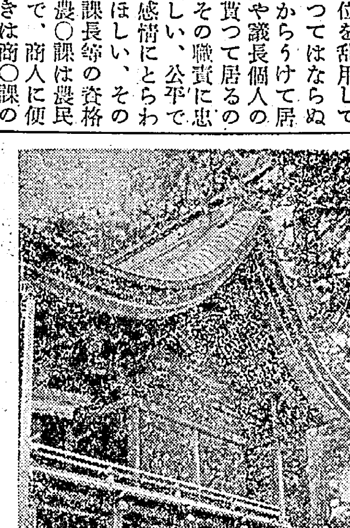
担當 赤井たけ子

この五月の常磐市長選に立候補する四人男保二革二とは噂さは聞くが、さて素質と日頃の行動から誰が革で保なのか素人の吾々には全く不明だ▼オレは働く味方など物申しても裏の紐は衆外多衆を日頃苦しめているところからついている場合も多いものだから選擧は今から油斷は禁物▼炭鑛の地盤から松井以外に立つ無所屬利益代表、それに相双から立つ有名女性候補、革新重鎭も今年は多事多難▼保守には珍らしい余りにも清潔な關内さんの勇退、これは敵味方共同情彼の功績を引繼ぐ木村さんこそ大いに感激すべきだ▼鈴木、高木、大井川、小澤等の多彩な元氣どころ沼三産業帯の百年の大計を失うことなく神武以來の民自黨景氣をこの地帯に早く持ち込んでくれ▼常磐首長に立つ社会黨公認の磯野さん衆議院選では松井、武藤の何れを捨てるのかこれが今年この地最大ニュース▼勞組の操縦では日本でも有名な木山さん大切な組合を二分しては会社に申譯ありませんよ、大いに頑張つて下さい▼この頃の大衆の目は極めて鋭くあまくみたら大變ですよ、探點はすごく嚴重ですから▼二十數名の内郷市議等の二週間に亘る九州大名視察旅行……獲物は結局平競輪の借人とか白水生れの大越常磐社長さんこゝ等で彼等の迷惑を解いて故郷に花をかざられては……でないと歸郷しても肩身が狭いよ：：ね社長さん▼駒忠事件の代理人を引受けた大嶺さんこの石城の地方で常磐炭礦の感情をそこのう行爲をなし得る人は實に少い、判事檢事、税務官公吏その他の官公一切の民衆も……ために常磐を邪道迷路に入れて会社にマイナスさせること非常に多い▼会社を敬愛すればする程会社經營者のよりよき同志的忠言を惜しんではなるまい、これが地方人のその地の基幹産業に對する常識ではあるまいか？

住吉神社正遷宮祭

三月十四日(舊二月十三日)

神德について渡邊宮司の謹話



磐城市住吉鎭座、渡邊繁氏を宮司とする延喜式内住吉神社は御本殿正遷宮祭を三月十四日(舊二月十三日)みのかさ祭りを卜し、左の順序で執行する

九時半、觀世流奉納謠曲、十一時、正遷宮式典、十二時水戸大神樂上演因みに大字住吉區長は齋藤忠三氏、住吉の氏子總代は齋藤晃、竹原通夫、松崎伯文、高萩政記の四氏がその衝に當つて居る、今社宮司渡邊繁氏は全社の神徳について大略左の如く語つて居る

住吉神の神徳について

日本人の祖先は何世紀前の頃か、中央アジヤ方面からだん／＼島づたいに東上してきた、海洋民族であつたことは言語風俗等からも立證されている樣に彼等にとつて海は生活の根據地であり、交通路であり、無限の寳庫であつたのでありまして自然海に感謝の喜びを捧げるという信仰が生れたことは當然であります、從つて我が國の最も古い信仰は何々の命では決してあろう筈はなく一樣に海の神を信仰していたと申さればなりません、其の海の神が住吉神でありまして海岸近く、風景に勝れ、良民の自ら集りに地の利に惠まれ海幸は求めずして得られ住むに良く暮すに良い所即ち住吉の名が生れたのであります、神名を筒之男命と言うは津々浦々を守護し給う意味から斯くはなつたと申されます海の上と中と底を守る三神は三位一体の理を表わし神徳の完全無欠を示しているのであります、此の神を出世神とする所以は、海は『生み』であり、母性を表象して一切萬物を生み成す大いなる力の働きを具現して生長發展を司るからであります、昔この邊一帶は入海で住吉の磯山は恰も浮島の樣に靜かな海面に姿を寫して、さながら一幅の繪卷繪の感があつたと想像されます、星移り時變つて武内宿禰勅命を帶びて東國巡視の折社殿を營んで東北の總鎭守として以來上朝廷より勅使參向せし事もあり、代々の領主も土地を寄進して信仰され、數多い社寳も現存して居ります、現在の本殿は源頼義公再建したのを幾度か修理を加えて今に至つたのでありますが更に今回大修覆をいたして國寳指定を受ける事になりました

祝 平新報第三種郵便物再々認可

常磐市湯本三函一五〇 鯨岡潔
平市三丁目六 ホシ薬局 電話平四二一九番
平市議会議員 坂本昌藏
平市長 諸橋久太郎
常磐商事株式会社 取締役社長 平市議会議員 鈴木勇 平市三丁目
平市城山 篠山廉
富士電機商会 里見榮一 平市二丁目
平市二丁目角 株式会社 伊關呉服店 電話三一二三番 振替口座郡山一三一五
子鍬倉神社 山部正勇 平市揚土臺
常磐交通自動車株式会社
福島県高等学校長協議会石城支部
飯野八幡宮 飯野盛男 平市高月臺一
平市長橋町 大嶺秀吉
平市新川町 吉田定太郎

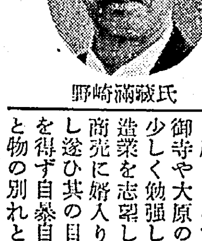
炭屋旅館 關内一郎 平市田町一 電話一三八
平市二丁目 大一屋商店 電話一三番
又新造船所 小野虎治郎 磐城市字古港九八
平市二丁目 谷口保子
勿來市植田町本町五一 小野保
常磐市下船尾 中野新平
清酒『稲萬歳』醸造元 古川酒造場 勿來市植田町 電話植田一六
勿來市植田町字本町 齒科医 森合芳男
四つ倉町 木村守江
勿來市錦町字大島六 錦町農業協同組合 組合長 鷲清章
勿來市 勿來商事株式会社 取締役社長 箱崎義一
磐城市定西五 高木醫院 電話四九九番
税理士 山野邊久利 事務所 平市仲町四 電話平一三七三

井坂医院 井坂久吉 平市田町
平市役所 商工・観光課長 鯨岡多久
平市南町 馬目誠
常磐市湯本 若松修一
平市本町四丁目二一 マルトモ書店 電話(自宅)一二四・二三四 一八五 振替 東京 四四三五八
平市才槌小路一 野崎喜八郎
株式会社 磐水社 社長 山崎忠兵衛
平市字田町二四 常磐炭礦福島県販売株式会社 取締役社長 阿部政右衛門
平市南町六九 電気商 山野邊程知
磐城市住吉 齋藤慶次郎
福島県内郷市長 沼田一夫
公民質屋 日野利春 常磐市
電話開通お知らせ 六五〇番
主食米集荷業 礒上久美 常磐市西郷

敬神、郷土愛

交通安全を念願する住吉の生んだ偉人野崎滿藏翁の頌德碑

常磐交通自動車株式会社々長野崎滿藏翁（住吉の方ではみつぞうさんと呼ばれて居る）本年七十七才、喜々の祝である、住吉の名家あぶらやに蓬髪を揭げ、左の本社に寄せた音信にもある通り人生の苦惨をなめて今日に至る、實に數奇な行程を歩んで今日の大をなし、社会奉仕の件は數限りがない、殊に郷土愛、生家愛には頭が下がるものがある、翁の敬神交通奉仕等の德に酬えんとして翁の喜々の祝ひに當り、住吉神社境内に翁の頌德碑を建立すべく、住吉神社宮司渡邊繁氏、氏子總代齋藤晃氏等、殊に野崎左四郎氏、中野氏等一族總力をあげて頌德碑建立に拍車をかけて居る、惠まれたる哉、野崎滿藏翁である左は昨年十月本社に寄せた翁の音信を揭して翁の心境と信念を紹介する



野崎滿藏氏

拜啓

初秋の候朝夕洵に凌ぎ能き時節となりました、本年も大豊作で政界は兎も角一般大衆の心裡は喜ばしき次第であります

貴台には引續き平新報を御發行被成地方文化の開發は勿論殊に常磐地區綜合開發の中心地たる平、常磐、磐城市の開發振興に寄與せらるる事は報導機關が先驅を爲すものと信ぜられます。

先日申上げました通り各人自己の權利を主張する事は民主々義の當然の行爲でありますが、ややともすれば磐城地方人否殊に平地方は人の成功を妬み或は商売の繁昌を嫉妬心を以て競爭し或は邪魔する小心慾々として相當の地位に居るものがあることは遺憾の至りです協力して地方を發展せしむると云う一致協力の精神が欲しいものであります。

小生は少年學校に於て大抵首席を占めて居り、野田の御寺や大原の熟等に漢學を少しく勉强し、將來醬油製造業を志望して平の高利貸商売に婿入りした分家に際し遂ひ其の目的を達する事を得ず自暴自棄に陥り蕩母と物の別れとなり破產の浮目を見たが、小生は如何に失敗しても恩を忘れず人に損をかけずと云う信念を以て渡世の目標とした藝妓屋に迄陥落したが、それでも恩を忘れず損をかけずという信念で料理店の勘定も小生位徒費すれば半分に切り捨て貰うとか或は三分の一まけろとかが普通だが、小生は一軒でも勘定をマケロとか或は借倒すという事はただの一軒でも無い。後政治にも奔走したが總て飲み食いの勘定までも小生が支拂を爲し人に御馳走になり放しという事は一回でもない筈だ縣会議員中滿十三ヶ年間如何に運動しても其の報酬として運動費を頂戴した事は一回もない、昭和二年小名濱商港開發議案が小生が頑張って通過成立せしめた、其の後内務省、大藏省に陳情し出向した際小名濱、鈴木榮町長から金八十何円か旅費として送金頂戴したが縣会議員はそれ等の地方の仕事をするのが當然だからと云うて返金したも一ッ湯本の水道が好間江筋から分水する際も二十名程好間から縣に陳情反對したが湯本は三百六十五日飲料水に困っている好間村民の（平も含む）反對は農繁時の潴溜水に困ると云うて反對するのだから社会問題として、心配すべき問題だとして當時、小生は平町民から非常な攻撃を大瀧發電所問題で受けて居つたが入道問題として仲裁に入り妥協せしめた當時、入山炭礦所長吉田宗雄氏は金一封を持參したが、小生遂ひに受取らずに返した、一二の例だが、平市会議長時代でも種々の問題があり又、縣議中にも一切運動費は一文でも貰った事はない、それ故選擧の際、陣中見舞を警察署長の了解を得て貰い受けた、其の爲あまり、運動費も使わず三期、縣会議員をし身代限りをせぬのは小生一人位と申しても憚らない外にも木村清治さんの如きもありますが先づ〳〵少ない方です。

現今でも恩を忘れ人に損をかけずと、世間を渡って居りますが、近頃或る会社の平商工会議所会頭中に地方工業援助の意味で二、三の会社の重役となり遂に借入保證をなし人にも話しの出來ない境遇に陥り苦心して居ります。。今や七十六才の老境に入り是れもあれもと仕事を遣りたい事もありますが健康が許さず唯、人生は永遠性を持つ商売と云う事を若年から考え醬油屋と志したが、前陳の様な次第で現在の自動車は茲百年や百五十年位は如何に化學が進歩しても、大丈夫とは考え本縣四つのバス会社に戰時中統合せられ、自力即ち地元の資本で經營して居るのは常磐交通だけで、他の三社は中央から他縣からの資本が注入されて居りますので、地方の利益を中央や他縣に奪わるる事なく各位の援助を得て獨立して經營して居ります。何卒今後共御指導御援助を蒙りたく御願いします。

小生は一昨年眼疾の爲、東大病院で手術を受けましたが最近又々白内障が再發して新聞を讀む事を不得ただ題字だけを見て重要の處は讀んで貰う、主としてラジオを聽いて居ります。

貴兄の新聞を愚妻が讀んで見ろと勸めがある極度の眼鏡で十分位讀み少し休んで又讀むと云う有様です毛筆で字を書く事は出來ず万年筆なれば十分位認め休んで又書くということで、此の手紙は三時間位かかり認めた次第、貴兄とは懇談した事はないから何れ機会を見て一度懇談致しましょう吾々の二、三十才の十年と今日の一年位と化學の進步で恩惠を受けて居りますので、人生は長生が第一の幸福で生活の安定を得て完全な幸福と存じます。

小生も今後十年位は長壽を保ちたいと考えて居りますクダラないことを乱筆にて御容赦と共に御笑讀下さい

勿々謹言

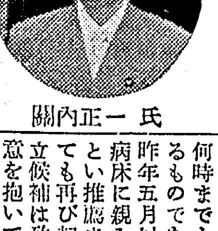
自民黨石城支部大会

衆院に木村守江氏を推す

關内正一氏の意志表示の概要

自由民主黨石城支部定期大会は二月十七日午後一時から平市公会堂日本間に催した、開会の辞、坂本淺次郎支部長挨拶小野義一、庶務報告野澤武藏　座長選任（小野義一氏）議事に入って選擧對策、衆議に木村守江氏、知事に大竹作摩氏三選關内正一氏挨拶、宣言坂本幹事長朗讀、決議役員改選小野義一支部長以下再選留任、樫村氏の質問、大井川正巳氏分派的行動、その日樫橋渡氏ら小名濱、湯本で講演の件質問新妻泰孝氏發言大井川氏除名勸告其の他役員に一任すること、講演に移って木村守江氏挨拶（坂本氏かわる）山下春江氏（前厚生政務次官　國務大臣川村松助氏、衆議院議員青年學生部長田中正巳氏、衆議院議員厚生常任委員長藤本捨助氏等の講演あったが小野支部長は國民のため吾が黨のためとやったが他の講演者は民主自由黨のため協力云々を强張して居つた一寸耳ザワリが悪かった踏み切った關内正一氏の心境披露挨拶の概要左記

關内氏の挨拶



關内正一氏

拍手に迎えられて前代議士關内正一氏は左の意味の發言をして所信を明らかにした、▽昨年の十二月十二日現役縣議と近く行わるべき解散による候補者擁立その他の協議に參加した、當時は石橋内閣も誕生せぬ時で昭和三十二年度の予算が成立した際に解散が行われるであろうとの予測のもとに相談を進めたのである▽私は永い間皆様の支持を受けて重要ポストに据えられたが淺學菲才、到底皆様の期待に副い得なかったことを深くお詫びすると共に何時までも政治の御を私するものでないと考え、且つ昨年五月以來は健康を害し病床に親み勝ちなので、たとい推薦されることがあっても再び起たない、次回の立候補は致さないと固い決意を抱いて居たのであるが石城のわが黨は一日も早く公認を決定して遲れを取らないようにされたい、どうか私の心中を察して御諒解あらんことを希望する▽私は永い間支持された皆樣に感謝すると同時に、黨員の一員として同志のために全精神を傾けて必勝のため盡すことをお誓いする

市議遠藤勝馬氏

暴力團におそわる

小名濱の不祥事

去る三日午後五時頃、小名濱港竹や清掃部附近で市政刷新市名變更で正論を主張活躍善處しつつある中之作市議会議員遠藤勝馬氏は三四人の暴漢におそわれ相當の打撲傷をうけた由である氏は敢て歯牙にかけぬらしく醫師の診斷書をとったとかの噂さもあるから、その手續をとるかも知れぬ、あるいは遠藤氏に一盃のまして、問題にせぬようカムフラージする心算だった由、だが『彼ら暴漢は遠藤氏に三代市長政治にどこまでも立てつくなら云々……』として暴行を加えたとの事だから問題は議会人に暴力を加えるに至っては文化人議会人擁護のため其の筋の十二分の取締りを要望し再びかくの如き不祥事なからしめん事と陰の卑怯な悪策に非難の聲がゴーゴーである、又も暴力團小名濱に伏在する正義の人々は十二分に戒心すべきである

駒忠事件、民事公判準備は四月二十三日午後一時より續行、これで準備は結審となる、五月は愈々公開公判

刑事々件は取調中、市民の裁き（リコール）に進め

世に云う駒忠事件即ち磐城市の二重売り、常磐炭礦が情を知りつつ二重買ひをした壹億九百壹萬參千円及び本訴状送達の翌日の日から右金完濟迄年六分の割合による金員を支拂い訴訟費用は被告らの負擔とするの民事訴訟の三回準備公判は去る六日午後一時から福島地方裁判所平支部で開かれたが草野惠正氏の代理辯護士畠山氏の病氣等の關係から、四月二十三日午後一時から又も準備公判の續行となった由である但しこれで準備公判は結審で五月に入って愈々公開公判となる

六日は被告側から宗宮、眞木市井の各辯護士、畠山氏は病氣欠席、常磐炭礦から社員一名出席せりとか、原告側は駒木根忠敬氏、大嶺瀧内の兩代理辯護士出席せる由で元法相法博鈴木義男代議士は公開公判になれば万障繰り合して出席するとの事である、刑事事件はどうなって居るか、引き續き取調中である模様である、公開公判一回もやらず妥協等とはあり得べからざる事で印紙代六十萬円貼用して公開公判前に妥協等とは裁判所をダシにする事になる、仲に入いる縣知事、各市長議長、助役等が引責辭したらいつでも仲に入いる如きを仄聞して居る、彼ら公職に在る被告らは悪いことをしながら任に背いて何んら恥とせず、反省どころか、言語に絶する言動をなしつつあるのだから、どうしても法的に市民の裁きをせねばなるまい

物故された知人

吉田秀文氏

小川町高萩小路尻一六（嗣子正文さん）は一月廿二日葬送された、因みに氏は磐城高等學校教諭（前）現平商業高校教諭であった

濱島操氏

福島市宮下町二三　嗣子崇（たかし）氏縣会議員は二月八日午前四時四十分永眠され、全月十日午後一時から福島市稲荷神社で葬送された、磐中二八会、關内正一氏等弔電を打つた、因みに氏は磐中二回卒業生であった未亡人は、つなさん次男白氏、三男鎮夫氏

大和田フジ媼

磐城市野田大和田茂氏の母堂の媼は二月二十二日永眠全二十四日葬送された、全媼の夫作馬翁は玉川小學校庭へ二宮尊德翁の石像を寄贈せる教育に理解のある篤志家である

永井シチさん

磐城市岩出永井留吉氏の夫人の氏は二月十五日（舊正十六日）惨悲劇のため永眠された、行年六十一才還暦であった葬送は全月十七日

渡邊寅松氏

磐城市榮町六、渡邊寅松氏は永らく病氣加療中の處三月一日永眠全月三日葬送氏はイ邊馬上庄治氏漁業部に勤務されて居った妻は千代さん長女マサ子ハル子さんが殘されて居る

竹原武松氏

住吉の氏は二月二十二日永眠二十四日葬送、孫女一人が殘されその死を惜まれて居る

諸橋家（平）鈴木眼科醫（植田）の慶事

仲人は木村氏

勿來市植田鈴木眼科醫院、鈴木燕（アキラ）氏長男敏之氏は平市六丁目、諸橋久四郎氏次女陽子嬢と婚約成り三月十七日結婚式を擧ぐ媒妁人は四倉町醫學博士前參議院議員木村守江氏夫妻である。

伊關呉服店の慶事

天理教会で結婚式

平市二町目伊關呉服店主伊關房次氏五男昭五郎さんは小名濱港後宿上明神町、小野照吉氏の令嬢サツさんと婚約成り天理教磐城平大教会会長、平澤福太郎氏夫妻の媒妁で五月七日全教会の祝典をあげる由、昭五郎氏は水戸市泉町伊勢甚商店仕入部長として全店に丸九ヶ年奉仕して居る眞面目將來を期待さる青年商である、因みに小野昭吉氏は本多屋と號して夫人カツさんは西郷出身の夫妻協力して一代の成功者として稱讃されて居る。

◆社告!!! 御諒解を乞ふ

本紙前號に予告した左の報導は内査未了につき次號に讓ります

一、長瀬議長と林城禪長寺（佐竹俊雄氏住職）勅額海会正親町天皇等の記事は寫眞の都合上次號に報導　一、安藤對馬守の銅像再建運動の記事も仝上

（平新報編輯人）

（反響）音信交換

福島縣常磐市教育委員会教育長、根本喜代一

三十二年三月三日

前略　このたび兒童就學についでは、まことに御心配をおかけいたし、また今後の教育についても一方ならぬ御配慮をいただくことになりまして、心から感謝いたしております。さきにお渡しした寄託品（ノートの送り主が判りましたので、お知らせ申し上げますからよろしくお取計らい下さるようお願いいたします。

安達郡二本松町大平字中井二三　渡邊正記長女（大平小六年）渡邊さと子

× × ×

平新報社　山野邊庄吉

三月六日

平市杉平九飯島兵司様方らく様

拜啓　前畧御免下さい、昨日雪でした、御無沙汰して居ります昨日は金成新一氏母堂こう媼危篤の報に接し西郷行、箱崎武さんより金成砺安さんの孫、敬子（きよう子）文子への御惠みの衣類四點あつかって來ました、貴姉の御芳情、金成砺安、ふみ夫妻、母（きくよ）に代って厚く御禮申し上げます、敬子は私が引き取り小名濱第三小學校へ喜んで通って居ります、文子は錦の江栗の弟八郎が引きうけて四月から入學させる手續きをとってやりました右畧儀ながらハガキで御禮申し上げます、御放念下さい

勿々不備

平新紅筆

平の華街は一本化？

平の華（はな）街（まち）即ち藝妓、料理屋組合が故鈴辰市長時代即二つになってすべての上で發展を阻害して居る、それが人命をとりあつかる醫師から、こんどは床屋さんに波及して居る、然し華街は自然解消？一つになるようだ▼旅館と料亭は兼ねられぬ事になる法ができる、但し特定の温泉地帶飯坂とかは差し支いなく、全國で百二十ヶ所、湯本はそれに認められる？、認められぬとせば湯本の色街業者の死活問題である

兩家の御目出度

磐城市岩出、山野邊大藏氏長男勝氏夫人チヱ子さんは本年一月三十日男兒出生養一さんと命名した

仝義雅氏四男昭氏夫人輝子さんは二月十五日男兒出生正義さんと命名した

西郷の區長

常磐市西郷の區長は箱崎武氏選ばれこの程就任した。

（目）（耳）（活）

東北電力のヘリコプター基地西郷に決る

貞二

東北電力株式会社ではヘリコプター基地を新設すべく昨年十月頃から、常磐市磐崎方部數ヶ所を測量して居ったが、この程同市西郷字錢沼六號國道近くに建設する事になった、其の基地敷地は一千二百坪で今年十月頃着工の見込とされて居る

不便な岩ケ岡まで電話入るか

常磐電話局では過般市内湯本から下湯長谷新道までケーブル線を延長し、この程新に磯上宮食集荷業、磯上久美氏、石井商店、酒井菓子店に電話を新設し今度は岩ケ岡、若松屋酒造場、御代武光氏、同字吉田吉兵衛磐油釀造場、西郷、磯上タバコ店、これは公衆用として近日中に新設される

遊園地化した磐崎小學校

常磐市磐崎小學校、今年度卒業される六年生五十名は巣立ちの記念に小鳥小屋を設置して贈ろうと其の工事を進めて居ったが、この程完成し、去る一日生徒等と共に父兄から、氏家校長を通じて後輩に贈られた、尚昨年の卒業生は山石でツンダ豪華な庭と噴水式池を記念に又PTAでは回旋塔シーソーベリ台とを設置して同校は遊園地化されたが明年卒業生は何を記念に贈るのかと今から一般の注目